

平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社タカトリ

上場取引所 東

コード番号 6338

URL <http://www.takatori-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 岡島 史幸 TEL 0744-24-8580

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	4,517	-	△173	-	△75	-	△94	-
28年9月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △78百万円 (-%) 28年9月期第3四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△17.27	-
28年9月期第3四半期	-	-

(注) 平成29年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	7,382	4,566	61.9
28年9月期	-	-	-

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,566百万円 28年9月期 一百万円

(注) 平成29年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
29年9月期	-	0.00	-	-	-
29年9月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	-	231	-	324	-	237	-	43.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 平成29年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）高鳥（常熟）精密機械有限公司、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料P.4「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	5,491,490株	28年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	31,092株	28年9月期	31,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	5,460,398株	28年9月期3Q	5,460,435株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業の生産活動の回復に連動して企業収益が改善する中景気回復基調が続き、欧州においても、英国のEU離脱に伴う政治・経済をめぐる先行き不透明感が根強いものの、欧州中央銀行の金融緩和策や新興国・資源国景気の持ち直しなどが下支えに作用し、ユーロ圏景気は緩やかな回復が続いております。その一方、中国経済は安定成長を優先した当局の景気下支え政策等により、ほぼすべてのセクターにわたって前向きの動きが見られるものの、住宅市場の過熱、シャドーバンキング、過剰生産など様々な問題を抱えており、景気は今後緩やかな減速に向かう見通しであります。

一方、国内経済は、企業の生産活動の持ち直しが持続しており、景気は緩やかな拡大基調の動きが見られるものの、未だ政治リスクや地政学的リスクが世界経済を覆っており、金融市場の不安定化が円高を加速させる要因になる可能性も十分もあるため、依然として先行きに懸念材料を抱えた不安定な状況にあります。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、全体としてはスマートフォンメーカー向けを中心に、電子部品需要は回復傾向で推移しておりますが、スマートフォン需要の伸び率が鈍化している中で在庫調整局面入りすることが懸念されており、再び市場が縮小に転じるおそれが示唆されております。

このような状況の中、電子機器事業につきましては全体的に低調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましても低調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、競争激化に伴う採算の悪化及び受注機会の逸失等により十分な売上高を確保することができず、営業損失、経常損失及び当期純損失を計上することとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45億17百万円、営業損失は1億73百万円、経常損失は75百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は94百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

液晶製造機器では、スマートフォン及びタブレット等の高機能端末市場が堅調であったものの、国内外の大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー（受託生産企業）が設備投資を先送りにしたことにより、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器では、スマートフォン関連の国内外電子部品メーカー向け量産装置、省エネルギーで注目を集めているハイブリッド／車載向けパワー半導体量産設備、LED照明用チップ量産設備の需要が、前年度の反動から低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

MWS（マルチワイヤーソー）では、依然としてLED関連製品市場が回復していない中、パワー半導体用途での装置販売に期待を寄せていましたが、全体的には低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は41億78百万円、セグメント損失50百万円となりました。

(繊維機器事業)

国内アパレル業界においては、設備の更新、増設が先送りされている状況が続いており、ものづくり補助金の採択量の減少も影響し、アパレル向けの裁断機の販売については、低調に推移いたしました。一方、炭素繊維業界向けの裁断機、並びに縫製業界向け自動機に関しては、一部に設備投資の動きが出始めています。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は3億28百万円、セグメント損失26百万円となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業においては、前期に厚生労働省より製造販売承認を取得した「胸腹水濾過濃縮装置T-CART」につきましては、臨床データを十分に集めるべき性格の製品と考えており、現在、販売先を限定し、市販後臨床調査を極めて慎重に行っております。

また、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が推進する課題設定型産業技術開発費助成金(平成27年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業)を活用し、研究開発活動を行っていましたが、本助成事業は、平成29年2月末日をもって完了いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、研究開発費が70百万円発生いたしました。

なお、従来の装置開発技術を活かし、特殊用途の医療機器製造装置を受注、販売いたしました。

その結果、売上高は10百万円、セグメント損失97百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、73億82百万円となりました。

流動資産は46億79百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が22億81百万円、受取手形及び売掛金が12億35百万円であります。

固定資産は27億2百万円となりました。主な内訳は、建物が12億79百万円、土地が7億81百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、28億15百万円となりました。

流動負債は25億98百万円となりました。主な内訳は、電子記録債務が7億9百万円、短期借入金が6億円です。

固定負債は2億16百万円となりました。主な内訳は、長期借入金が1億50百万円です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は45億66百万円となりました。主な内訳は資本金が9億63百万円、資本剰余金が13億52百万円、利益剰余金が22億47百万円です。

この結果、自己資本比率は61.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での通期業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間より連結決算に移行しておりますので、本日(平成29年8月8日)公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,281,670
受取手形及び売掛金	1,235,257
製品	155,540
仕掛品	733,627
原材料及び貯蔵品	133,948
その他	139,621
流動資産合計	4,679,665
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	1,279,572
土地	781,479
その他(純額)	240,337
有形固定資産合計	2,301,390
無形固定資産	22,801
投資その他の資産	
投資有価証券	87,994
繰延税金資産	155,782
その他	134,510
投資その他の資産合計	378,287
固定資産合計	2,702,479
資産合計	7,382,144
負債の部	
流動負債	
買掛金	581,534
電子記録債務	709,101
短期借入金	600,000
1年内返済予定の長期借入金	214,720
未払法人税等	7,408
賞与引当金	65,645
その他	419,988
流動負債合計	2,598,398
固定負債	
長期借入金	150,031
資産除去債務	30,019
その他	36,914
固定負債合計	216,964
負債合計	2,815,362
純資産の部	
株主資本	
資本金	963,230
資本剰余金	1,352,321
利益剰余金	2,247,796
自己株式	△17,342
株主資本合計	4,546,005
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	18,849
為替換算調整勘定	1,926
評価・換算差額等合計	20,776
純資産合計	4,566,781
負債純資産合計	7,382,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,517,116
売上原価	3,600,054
売上総利益	917,062
販売費及び一般管理費	1,090,899
営業損失(△)	△173,837
営業外収益	
受取利息	69
受取配当金	1,436
受取賃貸料	7,540
補助金収入	80,939
その他	17,758
営業外収益合計	107,745
営業外費用	
支払利息	950
減価償却費	6,144
その他	2,308
営業外費用合計	9,403
経常損失(△)	△75,495
特別利益	—
特別損失	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,495
法人税、住民税及び事業税	2,701
法人税等調整額	16,120
法人税等合計	18,821
四半期純損失(△)	△94,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94,316

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△94,316
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	13,471
為替換算調整勘定	1,926
その他の包括利益合計	15,397
四半期包括利益	△78,918
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,918
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

①連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において当社は、高鳥(常熟)精密機械有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、高鳥(常熟)精密機械有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、連結財務諸表の作成に伴い株式会社エムテーシーを持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)		当四半期 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)		前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	5,208,238	92.4	4,164,215	92.2	6,999,217	92.3
繊維機器事業	425,488	7.6	343,241	7.6	584,947	7.7
医療機器事業	—	—	10,700	0.2	—	—
合計	5,633,727	100.0	4,518,156	100.0	7,584,164	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)		当四半期 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)		前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	3,900,450	2,860,141	5,113,359	2,962,207	5,670,750	2,027,123
繊維機器事業	457,551	129,482	312,086	81,125	595,006	97,180
医療機器事業	—	—	10,700	—	—	—
合計	4,358,002	2,989,623	5,436,146	3,043,332	6,265,757	2,124,303

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)		当四半期 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)		前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	4,730,048	91.9	4,178,275	92.5	7,333,366	92.6
繊維機器事業	415,188	8.1	328,141	7.3	584,947	7.4
医療機器事業	—	—	10,700	0.2	—	—
合計	5,145,236	100.0	4,517,116	100.0	7,918,313	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前四半期 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)		当四半期 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)		前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	2,207,343	89.5	2,570,709	86.9	3,946,124	91.0
その他の地域	258,886	10.5	387,349	13.1	389,228	9.0
合計	2,466,230 (47.9%)	100.0	2,958,058 (65.5%)	100.0	4,335,353 (54.8%)	100.0